

10月1日は浄化槽の日！

浄化槽は正しく利用しましょう

きれいな河川を守ろうよ



浄化槽って何？

◆きれいな水へと処理
微生物の働きを利用して、「し尿」や「し尿と生活排水」を処理し、きれいな水として河川等へ放流するための装置です。

◆大きく分けて二種類
・**単独処理浄化槽**…家庭からの排水でトイレの水だけを処理するもの
・**合併処理浄化槽**…家庭からの排水すべてを処理するもの

◆維持管理のポイント

浄化槽は、微生物の働きを利用して、適正な維持管理を怠ると故障してしまいます。それは汚物の流出や悪臭の発生、河川の水質汚濁の原因となる恐れがあります。
そこで、浄化槽法に基づいた「①保守点検」、「②清掃」、「③法定検査」の三つを適正に行わなければなりません。

◆維持管理の問合せは

鎌倉保健福祉事務所の環境衛生課までご連絡ください。
☎0467-24-3900

①保守点検



浄化槽の機能を十分に発揮させるため、定期的な水質検査や機械の点検・補修、消毒薬の補給などをします。
保守点検は、浄化槽管理士の資格を持ち、県知事の登録を受けた業者に委託してください。

②清掃

汚泥の流出を防止するためには、浄化槽内に蓄積した汚泥の引抜き、槽内の洗浄が必要です。全ばっき型は6か月に1回以上、その他は1年に1回以上必ず清掃してください。



【浄化槽清掃業者】

☎875-3075
(有)葉山衛生社
☎875-0643
(有)葉山興業

③法定検査



維持管理が適正に行われているかの確認のために、浄化槽の健康診断ともいえる検査をします。法定検査は県知事が指定した機関が実施します。

【法定検査機関】

公益社団法人 神奈川県生活水保全協会
☎045-830-5721

補助制度

◆合併処理浄化槽への転換

くみ取り便槽や単独処理浄化槽からの転換費用の一部を補助します。

対象区域 市街化調整区域

対象者 住宅(店舗併用住宅を除く)で合併処理浄化槽へ転換する人

※新築や建築確認申請が必要な改築をする場合は対象外です。

補助額の上限

5人槽	332,000円
7人槽	414,000円
10人槽	548,000円
配管工事費・撤去費	それぞれ90,000円

※年度内の工事を検討している人は、1月末までにご相談ください。

◆合併処理浄化槽の管理

浄化槽を適正に維持管理している場合、費用の一部を補助します。

対象区域 下水道が共用されている

区域以外の町内全域

対象者 住宅(店舗併用・集合住宅除く)で合併処理浄化槽を適正に維持管理し、町税等の滞納がない人

補助額 1基あたり上限7,000円

問合せ 環境課 ☎内線452

救助要請が急増しています！

秋のハイキングのマナーに気をつけて

身近な場所でも……

秋風が心地良い季節となり、ハイキングや登山を楽しもうと考えている人も多いでしょう。町にも近年多くの人がハイキングに訪れています。しかし、身近なハイキングコースでも道に迷うなどの事故が多く発生し、消防署の出場件数は平成23年度が8件、24年度が14件、25年度で5件となっています。

救助要請の理由

救助要請の多くは、道に迷い日没を迎えてしまい、ライト等を携行していなかったため暗闇で動けなくなったことによるものです。

また、携帯電話がつながりにくい場所も多く、遭難場所を特定ができず、発見までに時間のかかるケースが発生しています。

ハイキングを安全に楽しむためには、次の七つのことに気をつけてください。

1. 体力に合ったコース



葉山のハイキングコースは身近だと思われていますが、標高の割にアップダウンも多く、体力を必要とします。自分の体力に合ったコースを選択しましょう。

2. 二人以上で入山を！



枝道が多く、わかりにくい場所もあり、倒木等で通行できない場合があります。あらかじめ地形・距離などを十分に調べ、少なくとも二人以上で入山してください。

また、行き先やルート、スケジュール、同行者の名前や連絡先などは、家族や関係者に知らせておきましょう。

3. 持ち物を再確認



ハイキングや登山には、地図・コンパス・ライトなどの携行をおすすめしています。

4. 悪天候は避ける



天気予報を必ず確認し、悪天候になりそうな場合には、無理に入山することはせず、次の機会を待ちましょう。

5. しっかり時間を管理



出発前にその日の「日の出」と「日没時間」を調べておき、無理のないスケジュールを組みましょう。また、行き帰りの乗り物の時間なども調べ、余裕を持って時間を管理してください。

6. 山火事防止看板に注目



山の中には番号のついた「山火事防止看板」が設置されています。万が一の時には、この番号が場所の特定に役立つことがあるため、番号を確認しながら通過するように心がけましょう。

7. 火の取扱いに注意



タバコの投げ捨てによる火災も発生しています。山を守るため、また自分たちの安全のためにも、火の取扱いには十分気をつけてください。

